

第7次なは高齢者プラン

<那覇市高齢者保健福祉計画（平成30年度改定）及び介護保険事業計画（第7期）>

地域の中で支えあい、
高齢者がいきいきと、安心して暮らせるまち



平成30年3月
那 覇 市

はじめに



わが国においては人口の高齢化が急速に進展し、総人口に占める65歳以上の高齢者の人口の割合を示す高齢化率が平成27年10月1日時点で26.7%と超高齢社会を迎えております。本市においても、高齢化率が平成29年3月末現在で21.4%と高齢化が進んでおり、平成37年度（2025年度）にはおおよそ4人に1人が高齢者となる24.6%まで上昇する見通しとなっております。

高齢化が進む中、高齢者の単身世帯や高齢者のみで生活する世帯が年々増加していることや、家族介護の負担や介護離職等が社会的な問題になっている状況などから、高齢者の介護を社会全体で支えていく介護保険制度の役割は今まで以上に大きくなっていると感じており、多様化する介護ニーズや社会事情等に対応できる取り組みを進めていく必要があります。

このたび策定した第7次なは高齢者プランは、平成30年度（2018年度）から平成32年度（2020年度）までの介護保険や老人福祉に関する取り組みを取りまとめた計画となっております。本計画に基づき、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じた日常生活を営むことができるようにするための地域包括ケアシステムの構築や、要介護状態等の予防又は軽減もしくは悪化の防止、認知症の方やその家族を支えるための相談や支援などに重点的に取り組み、長期的なイメージを視野に入れながら高齢者を支える地域づくり等を推進していきます。

本市のキャッチフレーズである「平和・こども・未来—ひと つなぐ まち—」のもと、高齢者と地域や関係機関及び行政が繋がり、自助、互助、共助、公助及び諸政策を推進して、本プランの理念である「地域の中で支えあい、高齢者がいきいきと、安心して暮らせるまち」の実現に取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、本プランの策定にあたり、各種調査等にご協力いただきました市民の皆様、関係者の皆様、ご尽力いただきました那覇市社会福祉審議会の委員の皆様には厚くお礼を申し上げます。

平成30年3月

那覇市長 城間 幹子